

山城ガールむつみの出陣のススメ 「いざ、中城へ！」の巻

中城

中城は中世の砦跡として、「千葉県埋蔵文化財分布地図」に単郭方形、土塁、空堀ありと書かれています。台地頂部には平場があり、そこが主郭と考えられ、周囲には腰曲輪が設けられています。千田荘（多古）を領していた千葉氏宗家、千葉胤貞が築いたとも伝わりますが、詳細は不明です。虎口から下段に枡形を設け、枡形を狙う位置に櫓台を設けています。枡形からは食い違うように城道が主郭に向かって伸びています。コンパクトながら遺構の残りもよく、当時の城の姿が浮かびあがり、戦国期の城郭を存分に楽しめる城です。

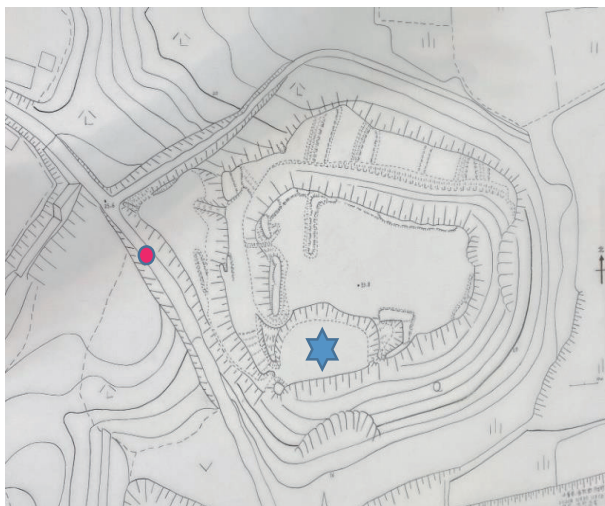
多古の中心?!「中村の台地」

中城の築かれた台地は「中村の台地」とも呼ばれていて、日本寺や妙興寺、妙光寺などの古刹が並ぶ多古の中心ともいえる台地です。そのような重要な場所だったため、中城は千葉胤貞が築いたとの伝承が残ります。実は「中城」という名は、谷を隔てた諏訪神社側の台地にも残っていて、諏訪神社の裏側には虎口や堀などの遺構があります。ただ、そこは「物見台城」とも呼ばれていて、さらに東側にある中城坂を挟んだ所に、「土やぐら城」と呼ばれる城郭遺構も残ります。

おそらく、中村の台地全体を広義の意味での「中城」とし、それを囲むように砦が築かれたのではないかと思います。

ぜひ、現地を歩いて中村の台地をお楽しみください。

縄張図と鳥瞰図でご堪能ください!! 中城が500年の眠りから目覚めました! ぜひ現地に行って楽しんでくださいね♡



大竹正芳氏・作 縄張図



大竹正芳氏・作 復元鳥瞰図

縄張図の赤い丸の箇所から城に入れます♪

中村小学校の東側ですよ♪



上の写真は縄張図の青い星マークのところ。草刈りにより、藪がすごかった腰曲輪が綺麗に姿を現しました。復元鳥瞰図のような建物が建ったたかもしれませんね。

多古城郭保存活用会

令和元年12月に地元の有志で結成された多古城郭保存活用会。保存だけでなく、活用も積極的に行うべく、このたび、中城の整備も行いました。去年までは草ボーボーだった中城が左の写真のように変身! ぜひ行ってみてね!



地域の歴史を大事にしよう!

中城の隣には中村小学校があります。今後は子供たちにも多古の歴史や城を伝えていきたいと思います!



山城ガールむつみ